

((第2回) 最終) 契約変更の内容

| | |
|----------|---|
| 契約変更年月日 | 令和7年9月26日 |
| 契約業者名 | 日本道路株式会社 北関東支店 |
| 契約業者の住所 | 埼玉県さいたま市見沼区春岡1丁目1番地10 |
| 工事の名称 | R 6 国道 4 号東埼玉道路（専用部）八潮地区改良舗装その 1 工事 （第 2 回変更） |
| 工事場所 | 埼玉県八潮市八條地先 |
| 工事種別 | アスファルト舗装工事 |
| 工事概要 | 道路土工（指定部分）1 式 地盤改良工（指定部分）1 式 舗装工（指定部分）1 式 縁石工（指定部分）1 式 防護柵工（指定部分）1 式 区画線工（指定部分）1 式 標識工（指定部分）1 式 道路照明設備工（指定部分）1 式 仮設工（指定部分）1 式 |
| 工期（自） | 令和6年7月24日 |
| 工期（至） | 令和7年12月26日 |
| 契約前の変更金額 | ¥247, 830, 000 |
| 変更金額 | 増 ¥60, 720, 000 |
| 変更後の契約金額 | ¥308, 550, 000 |

変 更 理 由

1. 道路土工(指定部分)

現地調査の結果、地盤高に相違があり、また、関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、道路土工(指定部分)を追加する。

2. 地盤改良工(指定部分)

現地調査の結果、取付道路のC B R値が不足しており、また、関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、路床安定処理工(指定部分)を追加する。

3. 舗装工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、舗装工(指定部分)を増工する。

また、現地調査の結果、調整池への土砂の流出を防ぐ必要が生じたため、段差抑制工(指定部分)を追加する。

4. 縁石工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、縁石工(指定部分)を追加する。

5. 防護柵工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、防護柵工(指定部分)を追加する。

6. 区画線工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、区画線工(指定部分)を追加する。

7. 標識工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、小型標識工(指定部分)を追加する。

8. 道路照明設備工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、道路照明設備工(指定部分)を追加する。

9. 仮設工(指定部分)

関係機関との協議の結果、先行供用する必要が生じたため、仮設工(指定部分)を追加する。

12. 工期

工期は、38日間延伸し、令和7年12月26日までとする。